

| 事業分析 | 項目 | 分析の視点 | 左記の視点に関する分析・課題の抽出 | 総合評価 |
|------|---|--|--|------------|
| | 必要性 | <input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他 | 市民活動の拠点を充実させ、市民活動が活発に行われることは、協働事業の進展につながる。 | ● 高 ○ 低 |
| 有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他 | 市民活動が活性化され、自主的に地域の課題に取り組む市民が増え、互いに支えあう地域社会が形成される。 | ● 高 ○ 低 | |
| 妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他 | 団体のニーズに合わせた知識の習得や、情報の提供を目的とした講座の開催は、市民活動の活性化に必要である。 | ● 高 ○ 中 ○ 低 | |
| 効率性 | <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他 | タイムリーな情報提供を行ったり、市民ニーズに合わせた講座を開催していくことで、市民活動の活性化を図っている。 | ○ 高 ● 中 ○ 低 | |

今後に向けた課題の分析

登録団体数の伸びや、市民活動センター利用者数が、市民活動の活性化の指標となる。市民活動センターの利用者数を増加させ、市民同士や団体同士の交流が盛んに行われるよう、場所や機能をさらに周知していくことが重要である。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

| | | 平成17年度 決算額 | 平成18年度 決算額 | 平成19年度 決算額 | 平成20年度 予算額 | 平成21年度 計画額 | 平成22年度 計画額 | 平成23年度 計画額 |
|-------------|---------|---------------|---------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------|---------------|
| 事業内容 | | | | 各種講座の開催や活動支援情報の提供など | 各種講座の開催や活動支援情報の提供など | 各種講座の開催や活動支援情報の提供など | | |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 起債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 特財 | 0 | 0 | 847 | 1,008 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 0 | 0 | 20,262 | 16,099 | 16,886 | 0 | 0 |
| 事業費 (A) | | 0 | 0 | 21,109 | 17,107 | 16,886 | 0 | 0 |
| 執行率 (%) | | 0.00 | 0.00 | 125.01 | | | | |
| 内訳 | 職員 (人) | 0.00 | 0.00 | 0.70 | 0.70 | 0.70 | 0.00 | 0.00 |
| | 再任用 (人) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 人件費 (B) | | 0 | 0 | 5,874 | 5,874 | 5,874 | 0 | 0 |
| フルコスト (A+B) | | 0 | 0 | 26,983 | 22,981 | 22,760 | 0 | 0 |

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性

● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合

<判断理由>

たくさんの方々が市民活動センターを利用し、市民活動が活発に行われるよう、引き続き周知を行う。

平成21年度の取組方針

市民活動団体のニーズに合わせた講座を企画したり、タイムリーな活動支援情報を提供していく。

課長コメント

社会の多種多様な分野の公共サービスの担い手となって活動する市民活動団体を支援する事業は、成果指標達成や必要性、有効性の視点で一定の評価はできる。NPOは、その専門性、機動性などから新たな公共の担い手として注目されている分野であるため、更に充実した活動支援は必要であり、継続していきたい。